**コロナ時代の社会像とこれからの市民と野党の共闘の方向性と課題**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　市民の風・北海道　共同代表

川　原　茂　雄

〇コロナ危機で明らかになったこと

・新自由主義による経済と社会の脆弱さと破綻

・市場原理による規制撤廃と利潤の最大化

・社会保障など公的サービスの切り捨てと自己責任論

・競争社会・格差社会・資本主義社会お矛盾と限界

・社会の中で弱い立場の人たち（高齢者・非正規労働者・母子家庭、貯蓄ゼロ世帯）への大きな打撃

・医療・介護・福祉分野の仕事に従事する人たちへの荷重な負担と犠牲

〇安倍政権の８年間の「つけ」

・対米従属路線－米国の軍事路線を補完するための安保政策・沖縄政策・軍備増強

・アベノミクスの末路－トリクルダウンは落ちてこなかった？

・官邸中心（官僚中心）とお友達による公権力の私物化

・後手後手と思いつきと朝令暮改の「コロナ対策」の失敗

・あくまでも経済（企業）優先、国民の生命・健康の軽視

・支持率の低下と政権放り投げ－しかし野党への支持・期待は高まらず

・安倍政権の負の遺産を継承する菅政権の成立－なにも仕事をしてないのに高い支持率？

〇コロナ時代の社会像とこれからの市民と野党の共闘の方向性

・コロナ時代（ポストコロナ・ウイズコロナ）における市民運動・社会運動

・もはや元に戻ることはできない－新たなフェイズ（段階）における新しい方向性と取り組み

・「市民と野党の共闘」というタームの見直し

・いつまでも野党でいいのか？いつまでも共闘でいいのか？

・次に予想される衆議院選挙（総選挙）では安部政権の打倒だけでなく、政権交代を視野に入れる必要が

・これまでの市民と野党の共闘の軸と枠組み－①安保法制の廃止、②憲法改悪の阻止、③立憲主義・民主主義の回復、の「３点合意」によって安倍政権の暴走を止めることが目的・目標であった

・とりあえずは市民と野党が共闘して、一人でも多くの立憲野党の議員を当選させ、衆参で３分の２以上の議席を獲得することをめざしてきた

・安部政権の崩壊とその路線を継承する菅政権の成立によって、共闘の目的は自公政権に代わる新たな立憲政党による政権を樹立することになった

・政権交代を実現するための新たなフェィズ（段階）における新しい対抗軸と枠組みを掲げる必要がある

・それは「コロナ時代の社会像と新たな政治のあり方」を示すものでなければならない

〇コロナ時代の社会像と新たな政治のあり方（政策・政権イメージ）

・５月29日に立憲民主党・枝野氏による政権構想―「支え合う社会へ」

・ポストコロナ社会と政治のあり方－『命と暮らしを守る』政権構想

・新自由主義社会と小さすぎる行政の脆弱さ

・ポストコロナ社会の理念－支え合いの重要性、自己責任論の限界、再分配の必要性

・７月15日に日本共産党・志位氏による講演会での「七つの提案」

・1.ケアに手厚い社会をつくる、2.人間らしく働ける労働のルールをつくる、、、

・響き合う二つの「政策・政権イメージ」－人間が生きていくために必要不可欠なものを最優先する政治

・人々の間に分断をもちこむ自己責任のおしつけではく、人々が支え合う社会、連帯を大切にする社会を

・市民連合－立憲野党の政策に対する市民連合の要望書（別紙）

・市民連合・立憲野党の意見交換会で提案－市民連合と立憲野党との政策合意への叩き台となる

・いのちと人間の尊厳を守る政治の実現を

・来るべき総選挙にむけて各立憲野党に提案し、政策合意を形成して共闘の基軸をつくりだす

・新しい時代における新しい共闘（共同）のための共通した政治（政策・政権）イメージの共有と合意

・それぞれに共通して重視されている政治（政策・政権）イメージ

・「生命（いのち）」と「生活（くらし）」を最優先する政治（政策・政権）

・日本国憲法の基本理念－基本的人権の尊重（特に１３条と２５条）－幸福追求権と生存権

〇市民の風・北海道の新たな役割と方向性

・市民の風・北海道のこれまでの役割と方向性－北海道における市民と野党の共闘をつくりあげる

・「戦争させない日本・社会」をつくるために、①安保法制廃止、②憲法改悪阻止、③立憲主義と民主主義の回復をめざす、の「３点合意」による共闘体制と統一候補の実現をめざしてきた

・これからは、「新しい政治（政権）を実現するための市民と政党の連携・共同をつくる」こと

・市民と政党の連携・共同のための「合意形成」－新たな政治（政策・政権）イメージの共有

・これまでの「３点合意」に加えて、新たな「合意点」を－たとえば①生命②生活（くらし）③文化など

・道内立憲野党への政策要望書（提案）－「北海道から新しい政治・社会をつくるために」

・安倍政権の暴走を阻止し倒すための「共闘」から、新たな政権を樹立するための連携・協同づくりへ

・７月～８月―道内の立憲野党との懇談会（７月日本共産党、８月立憲民主党）

・９月－市民の風・北海道から道内立憲政党への要望書－新しい政治（政策・政権）イメージの提起

・10月初旬－道内の立憲野党の書記長幹事長会談の実現

・10月中－新しい政治と社会をつくるための北海道における市民と政党のシンポジウム（ネット中継で）

〇市民と政党との「新しい政治（政策・政権）イメージ」の合意形成

・全国レベルでの市民と政党の政策合意形成－市民連合の政策要望書と立憲野党との意見交換会

・市民連合と立憲野党との政策合意（１３項目のバージョンアップ版）→全国レベルでの共闘体制の確立

・市民の風・北海道と道内立憲野党との政策合意→北海道レベルでの共闘体制の確立→統一候補の実現

・各区の会と各区立憲野党との政策合意→各区レベルでの共闘体制の確立→統一候補の当選をめざす！